

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news

第7回 島田療育センターはちおうじ セミナー

11月23日（金）に第7回島はちセミナー「共に生きていく社会～誰もが夢に挑戦できる社会へ」を開催し、大盛況のうちに閉会しました。

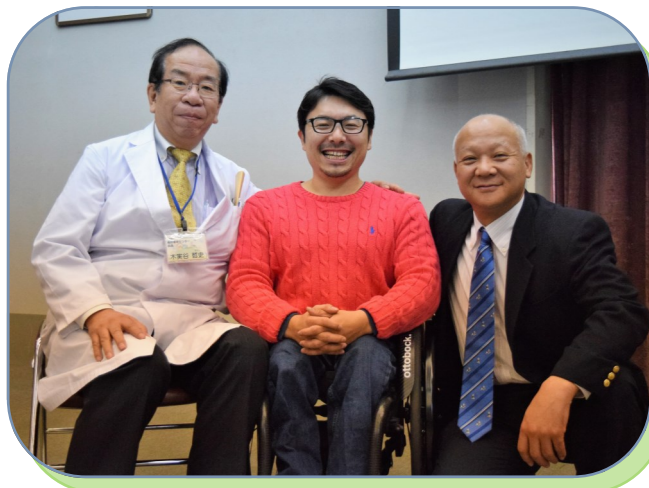
講師には、アイススレッジホッケープレーヤーであり、バンクーバーパラリンピック銀メダリストの上原大祐さんをお招きしました。上原さんはアイススレッジホッケープレーヤーを引退後、2014年に「NPO法人D-SHIPS32」を立ち上げ、「当たり前」の事が当たり前になる社会を目指す「ビジョン」を掲げ活動されているほか、2016年10月より「NEC東京オリンピック・パラリンピック推進本部集まろうぜ。」グループとして所属。2017年には一般社団法人障害攻略課を設立され、企業の商品開発や自治体などへの様々なアドバイザーとして幅広く活躍されています。

会場には教員や障害当事者、支援者など幅広い方々が集まりました。

上原さんは障害を持つ人、そして障害を持つ子どもたち、その周りにいる人たちとどのように手をつ

ないできたか、自らが関わっているプロジェクトや実践をもとに講演されました。いろいろな人が生きているこの世の中で、様々なバリアフリーを実践するとなると、難しく考えてしまいがちですが、実際には少し工夫をするだけでお互いが手を取り合いやすくなることに気が付いていないだけなのだと言上原さんのお話から改めて感じることができました。ほんの少しの工夫がなかなか出てこない、そんなときにも人と人が手をつなぐことで新しいアイデアが生まれてくるとお話しされていることが印象的でした。今回のセミナーを経て、より多くの方々と手をつなぐ機会が生まれたことを、とても嬉しく思いました。

【通所科 児玉 裕】



左：島田療育センター 木実谷院長

右：島田療育センターはちおうじ 小沢所長



ベトナム研修

しまはちでは、年1回海外研修が実施されています。ここ4年間はSVCA「ベトナムの子ども達を支援する会（The Support of Vietnam Children Association）」のツアーに参加する形式で行われ、毎年2、3名の職員が参加しています。

SVCAとは、「1990年4月30日に設立され、ベトナム南部ベンチェ省、北部バクザン省の障害児（者）教育、リハビリテーション、母子保健を中心とした取り組みに関わり続けてきた小さなNGO（ホームページより抜粋）」です。



今回のツアーは2018年7月28日～8月5日に行われ、参加者は日本全国から集まる医療、福祉、教育、国際協力関係の方々、そのご家族などでした。

研修を通して、多様な歴史、文化、考えなどを持つ人々（これはベトナム人に限らず、日本人参加者同士でも）と、お互いの持てる力を発揮し合い、その場での最善をめざして行動することは、日々の業務にも共通する点が多々あると感じました。

子ども達の自立に向けた支援をご家族と一緒に考え、実践させていただきたいと考えています。

【リハビリテーション科 作業療法士 多辺田 俊平】



八王子市立第7小学校との交流

「八王子市立第七小学校5年生との交流会」が2018年10月23日～25日の3日間で行われました。3日間で来所された5年生は総勢110名、総合学習の一環として

“①通所利用者様との交流、②障害体験、③センターの仕事紹介”について、賑やかに楽しく交流・体験をしました。



今年はボランティアで来所された画家の方に、アートを通じてスペシャルニーズのある方々との交流について、ご紹介しました。身近なつながりが、さらに広がっていくことを感じさせてくれる交流会になりました。

【リハビリテーション科 作業療法士 松尾 美穂】





通 所

アストロジャガーズ交流会

昨年末の12月26日、八王子市を拠点に活動する軟式少年野球チーム「アストロジャガーズ」の選手たちと、当施設の利用者さまとで餅つきを通し交流会を行いました。

バットに比べるとずいぶん重たい杵に選手たちも始めは苦戦されていましたが、コツをつかんでからは「よいしょ！」の掛け声に合わせてタイミングばっちり！利用者さまと交互に杵を振り下ろしました。外来にリハビリに来ていたお子さんも参加していただき、柔らかいお餅がつきあがりました。



交流会の最後には、きちんと整列して堂々と挨拶をしてくれた選手たち。とても素敵でした！来年もみなさんと元気にお餅つきができることを楽しみにしています。



【診療科 藤崎 花菜子】

八王子市障害者文化展に作品出展

開所年度より、欠かさず出品している「障害者文化展」に今年も出品しました。触って感じてをテーマに、利用者さんが手の平で丸めた色とりどりのお花紙でイノシシや梅、松などを型取り、大きな絵馬に仕上げました。みんなの熱意と芸術性が審査委員にも伝わり、見事「奨励賞」を受賞することが出来、見学に行った皆さんが誇らしげに見えました。



隣に展示してあった「市長賞」の作品と遜色なく見えたのは私だけではなかったはずです。



【相談支援室 室長 箱崎 一隆】

ボウリング外出

2月14日に4名の利用者様と高尾スターレーンへボウリング外出に行き参りました。

ボウリング場に到着すると、皆さんピンの倒れる大きな音や雰囲気緊張気味でした。いざ、ゲームが始まると少しずつ環境にも慣れ、投球にはスライダーを使用し、皆さま自ら手を伸ばしてスナップをきかせ、スピア、ストライク等の高得点が続出しました。



始めはライバルだったはずの皆さんも、いつの間にかピンが倒れると全員でハイタッチをしながら盛り上がる事が出来ました。



【通所科 上利 友里恵】



からふる報告

12月8日(土)に、『“発達障害支援の基礎～強みに着目するアプローチ”』をテーマに、保育園・幼稚園の先生向けの講習会を行いました。講演会では、支援においてはまず子どもの安全感や周囲への信頼感を高めていくことが大事であり、そのために「当たり前なことでもできているところ」「困った行動の中でも“ここまでできている”という『ギリギリセーフ』な部分」を含めた子どもの強みをみつけて子どもに伝えていくこと、困った行動に隠された子ども

の願い事に気付いて支援していくことが必要というお話をしました。参加された先生からは「困ったことに目が行きがちだが、SOSに気付いてあげることの大切さに改めて気づいた」などといった感想をいただきました。お忙しい中参加された先生方、ありがとうございました。

【リハビリテーション科 心理判定員 館花 佳奈子】



ほっとひといき

時々私はスポーツジムで

はあはあといきぎれ
しています。

ほっとひといき

じゃないじゃん?と思われ
るかもしれませんが、そう
でもないんです。



運動して体温が上がった身体でジムを出て外のすずしさにさらされた時の心地よさ、自宅に帰ってから汗をかいた後に入るお風呂はまさにほっとひといきな瞬間です。

運動している間に気が紛れていたり、終わった後の心地よさがあるので、ストレスが溜まっている時には意識して自分の身体をジムまで運ぶようにしています。



子育て中の皆さんはなかなか時間がないと思いますが、ストレッチを10分間するだけでもほっとひといきな瞬間ができるかもしれませんよ。

【リハビリテーション科 理学療法士 角田 雅博】

おしらせ

information

ボランティア講習会

日にち：4月27日(土)
時間：13時30分～15時30分
先着：30名
申込先：福祉相談科
042-634-9559
ご参加お待ちしております。



島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック

えみんぐ

各種 予防接種を行っています。

予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。

診療内容

こどもがかかりやすい病気(発熱や嘔吐・下痢など)の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診
*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

